

第1回防災道の駅やちよ整備検討会 会議録

会議名 第1回防災道の駅やちよ整備検討会
開催日時 令和3年11月16日(火) 午前10時30分～午前11時34分
開催会場 八千代市役所 別館2階 第1・第2会議室
議 題 (1) 「道の駅」・「防災道の駅」の概要について
(2) 今後の検討会の進め方について
① 全体スケジュールと論点
(3) 平常時と災害時に求められる機能について
① 道の駅やちよの状況
② 道の駅やちよの防災上の位置付け
③ 道の駅やちよの現状整理
④ 平常時と災害時に求められる機能
出席者名 宇於崎会長, 小川委員, 石川委員, 出竹委員, 大澤委員, 鈴木委員,
【オブザーバー】 千葉国道事務所 松原計画課長,
千葉県防災政策課 渡辺政策室長,
千葉県道路計画課 横田副課長
【事務局】 檜垣危機管理監
危機管理課 萩原課長, 竹内副主幹, 一色主査補, 寺沢主事
農政課 余田課長, 周郷副主幹, 三橋主査, 後藤主任主事
公開又は非公開の別 公開
傍聴人定員及び傍聴人数 定員6人/傍聴人6人
所管部課室名 総務部 危機管理課
047-421-6716

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 総務部長挨拶
- 4 委員紹介
席次表の配布に代えて省略。

5 議事

(1) 「道の駅」・「防災道の駅」の概要について

「道の駅」・「防災道の駅」の目的と機能，選定について，千葉国道事務所 松原計画課長より資料1の内容説明がされた。

会 長： 現在，防災道の駅やちよは，「防災道の駅」の選定要件である「災害時に求められる機能に応じて，施設，体制が整っていること」を十分に満たしていないため，今後3年程度の間が必要となる施設や体制を整えていく。本検討会において，それに向けた計画を立てていくこととなる。

(2) 今後の検討会の進め方について

① 全体スケジュールと論点

資料2の内容について，八千代市 檜垣危機管理監より説明がされた。

会 長： 第5回で取りまとめる整備計画について，どの程度のボリュームのものを想定しているか。

市危機管理監： 整備コンセプトや整備ビジョン，整備施設の配置等を含めた検討会における検討内容を取りまとめた内容を想定している。

会 長： 報告書形式のものではなく，分かりやすい形にまとめた資料を公表するという認識で良いか。

市危機管理監： 問題ない。

(3) 平常時と災害時に求められる機能について

① 道の駅やちよの状況

資料3の内容について，八千代市 余田農政課長より説明がされた。

② 道の駅やちよの防災上の位置付け

資料4の内容について，八千代市 檜垣危機管理監より説明がされた。

③ 道の駅やちよ現状整理

資料5の内容について，八千代市 檜垣危機管理監より説明がされた。

委 員： 農業交流センターとふるさとステーションの利用者数が一桁違うのは，農業交流センターはふるさとステーションと比べて国道16号からのアクセス性が悪いことが要因か。

市 農政課長： 農業交流センターへの行き方が分からないという声もあり，利用者数が少ない要因として認識している。

委 員： 農業交流センターの利用者数が少ない理由として，資料3にも記載されているとおり認知度の低さを課題の一つとして取り上げるべきである。

市危機管理監： いただいた意見を踏まえて課題に基づく整備方針を検討したい。

会 長： 道の駅やちよに定休日はあるか。

事 務 局： 月に一日及び年末年始に数日間の定休日がある。

会 長： 年間 350 日程度運営されているということで、単純計算するとふるさとステーションは、一日に 1,300 人程度が利用しており、そのほとんどの利用者が直売所で野菜等を購入しに来ていると考えられる。これは、認知度やアクセス性だけではなく、道の駅が目的地化しているということが 2 施設間において利用者数の大きな違いが要因であると考えられる。

④ 平常時と災害時に求められる機能

資料 6 の内容について、八千代市 檜垣危機管理監より説明がされた。

委 員： 現状、発災時にペットの同行避難者を受け入れているのか。

市危機管理監： 過去にもペットの同行避難者を受け入れているが、ペットは屋外で受け入れている状況であり、台風等の悪天候の場合を想定すると同じ屋内での受け入れについての要望がある。

県防災政策課： 県で指定をしている広域防災拠点という考え方については、現状のあるままの姿を活用させていただくという理解である。例えば発災時に警察等の活動する機関が集結し活動拠点とする際に、必要となる機材・設備等は活動する機関が自前で用意することを前提としているため、施設整備に当たっては、「広域防災拠点に必要となる設備の整備」は基本的にないという考えである。八千代市からその他必要となる施設整備のご提案があれば検討の余地はある。

委 員： 農業交流センターの利用者数が少なく、2 施設間の主要なアクセス路が歩専橋のみであるため、国道 16 号から農業交流センターへのアクセス道路の整備と、2 施設間のアクセス強化が必要と考える。

また、社会資本整備総合交付金の支援において最大 5 年、重点的な支援を受けられるということであるが、道路を整備する場合、詳細設計等に時間を要するため、5 年という期間では非常にタイトなスケジュールとなると考えている。市としてこの期間でどの程度進められるのか、非常に不安に感じている。

国 計画課： 運用を開始してからまだ間もない制度であり、柔軟に対応したいと考えている。ご相談いただければ随時確認する。

6 その他

資料「防災道の駅やちよの整備の方向性（短期）」の内容について、会長より説明がされた。

会 長： 本検討会は、道の駅やちよの平常時の活性化と防災機能強化を図るため、平常時には使用できない防災設備を整備するのではなく、平常時の活性化にも寄与する防災設備について今後議論を深めていく場としたいと考えている。

今回の検討会では、「防災道の駅の整備」のための「コンセプト」と「ビジョン」を年度内に策定するということが、短期の作業となる。

「防災道の駅やちよ」については、市のマスタープラン等と整合するものを、長期的な計画として別途進めて行くものと認識している。

本検討会では、各組織の部長クラスの方々が委員となり、国や県の方々がオブ

ザーバーとなっているため、それぞれの見識を活かしつつ、良いものを策定したいと考えている。

次回は、指定管理者等の民間有識者も含め、コンセプトやビジョンについての議論を予定している。

市危機管理課長： 次回検討回の日程は、12月23日（木）午前10時00分から八千代市役所庁舎4階第2委員会室での開催となる。